

大方の秋まつり・黒潮町まるごと産業祭

「第57回大方の秋まつり」が11月9日(土)・10日(日)に、また、「第7回黒潮町まるごと産業祭」が10日(日)に土佐西南大規模公園周辺で開催されました。

「大方の秋まつり」では、町内の保育所や小・中学校の図工や書道などの展示や、一般の方による陶器や絵画、生け花などの出展がありました。

「黒潮町まるごと産業祭」の会場では、町内外から飲食・雑貨などの出店や土佐くろしお鉄道・高知西南交通バスのサポーターズクラブによるブースがあり、ステージではダンスや演奏などが披露されました。



ステージでダンスを披露する子どもたち

また、同祭には「大方中元気会」の26名が受付やアンケート回収などのボランティアスタッフとして参加しました。そのほか、「海辺の日曜日」も同日に開催され、多くの来場者が訪れました。

砂浜で楽しむ月夜の映画祭

入野の浜を会場に映画を楽しむイベント「The Moonlight Film Festival 2019」が砂浜で楽しむ月夜の映画祭」が10月26日(土)に開催され、昨年の2倍となる約500人が来場しました。

同イベントは、波の音や潮風の香り、月や星空など、自然に恵まれた入野の浜の環境を楽しみながら、いつもと少し違う映画鑑賞の時間を味わってもらえたらと、町と黒潮若手の会が共催しています。

3回目となる今回の上映作品は、昨年秋季に公開され話題を呼んだ「ボヘミアン・ラプソディ」で、観客の中には、劇中で流れる音楽に体を揺らしながら楽しんでいる人もいました。



星空の下で映画を楽しむ来場者ら
(写真提供:黒潮若手の会)

町外から来場したという女性は、「波の音が心地よく、星空もきれいで非日常な時間を過ごせた。また来年も開催してほしい」と話しました。

第25回潮風のキルト展

砂浜美術館が主催する「第25回潮風のキルト展」が11月15日(金)から18日(月)までの4日間、入野松原とふるさと総合センターで開催されました。

同イベントは、「布を楽しむ」をテーマに全国からキルト作品を公募し、集まった作品を松原沿いに展示するもので、今回は7歳から84歳までの応募者による個性豊かな70点の作品が集まりました。

また、手芸男子ユニットとして活動する2人を中心メンバーとしたPatchworkLifeによる企画展では、砂浜美術館の公式インスタグラムから選ばれた写真をTシャツにモダンキルトで表現し、Tシャツアート展のように展示されました。



キルトが飾られた入野松原

「外に展示されることで、見る時間帯でもキルトの表情が変わる。この空間を含め、キルトをいろいろな視点から楽しめた」と話しました。

地域の秋を楽しむ会2019

集落活動センターかきせが主催する「地域の秋を楽しむ会2019」が11月3日(日)、旧馬荷小学校を中心に行われました。

メイン会場では、山芋汁や惣菜・七立栗などの販売や馬荷冷泉を沸かした足湯などが用意され、体育館ではダンスや一条太鼓の演奏などが披露されました。

また、御坊畑会場ではいも煮が振る舞われ、野菜などが販売されました。

同センターの矢野健康会長は、「今年も多くの人が訪れてくれた。来年も盛大に開催できるように頑張りたい」と話しました。

同日には大方橘川地区で「コスモスの花見」も開催され、かきせ川流域の秋を多くの人が楽しめました。



多くの人が参加した餅投げ